



平成 27 年 7 月 15 日
 第 10 号 (夏号)
 南つくし野小学校
 南つく蝶プロジェクト
 代表 河野哲也

街づくりのランドデザインと蝶プロジェクト

蝶プロジェクトメンバーの発案でクスノキの若木が小学校の中庭に鉢植えされ、その若木から 2 羽のアオスジアゲハが羽化した。この 2 羽の蝶の羽化を通して、私達は蝶の生命力と一本の樹木の中に潜む自然の力の大きさを知る。蝶と蝶の食草の連鎖によって可能となる蝶を介した自然の復活の小さな一歩である。

家々の庭や住宅団地の庭や公園で生まれる一つ一つの蝶の命を点とすれば、どのようにして点を線とし、更には面として広げつつ、安定した自然環境の創成を可能とするか？

振り返ってみれば、街の造成と並行して公園を造り、街路樹を植え、住環境の緑化に努めてきた中、蝶やトンボや蟬や自然環境の連鎖の中で生きることの出来る虫達の存在を意識して来たであろうか？蝶プロジェクトが目指す蝶の飛び交う街づくりとは、虫達を意識した緑化であり、新しい自然の創成である。例えば、クスノキを街路樹とすることによりアオスジアゲハが飛び交う街を目指すように。

町田市では、「まちづくりの構想」をランドデザインとして策定、環境文化を育む魅力ある生活都市づくりを目指している。構想では、市を町田駅周辺を中心市街地、一般住宅・住宅団地などの住宅市街地、水と緑の広域拠点に区分する。

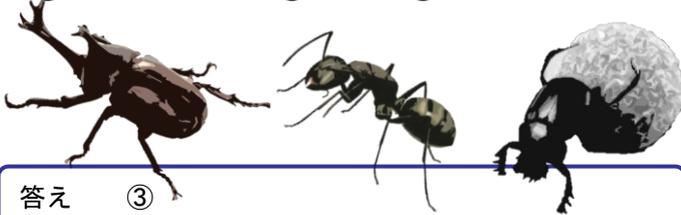
蝶プロジェクトの目指すところは、自然の保全を超えて、蝶をシンボルとした住宅市街地から水と緑の拠点に至るグリーンベルトを作る新しい都市型の自然づくりである。これによって、まちづくりの構想にある「水と緑の拠点」の発想が更に生きてくる。

■生き物クイズ■

いろいろな昆虫が、みんな同じ大きさだとしたら・・・

● カもちなのは、どれ？

①カブトムシ ②アリ ③フンコロガシ



答え ③

①カブトムシ②アリは、自分の体の何十倍もの荷物を運ぶことができますが、③フンコロガシは 1000 倍以上大きな糞を転がすことができますといわれています。

● 速く飛べるのは、どれ？

①トンボ ②スズメバチ ③ハエ



答え ①

②スズメバチ③ハエも速いですが、①オニヤンマはプロ野球選手が投げるボールぐらい速く飛ぶことができます。

● ジャンプ力があるのは、どれ？

①バッタ ②コオロギ ③ノミ

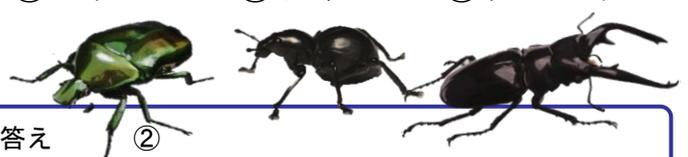


答え ③

ノミは、体の大きさの 200 倍の長さを飛ぶことができます。もし、ノミが人間の大きさだとすると、300メートルを飛ぶといわれています。

● 体がかたいのは、どれ？

①カナブン ②ゾウムシ ③クワガタ



答え ②

沖縄にいるクロカタゾウムシという真っ黒なゾウムシはとても硬く、針も刺さらないそうです。硬いかわりに空を飛ぶことができません。

活動の紹介

6月21日 水辺の自然観察（めだか池）

NPO法人鶴見川源流ネットワーク主催のめだか池（高ヶ坂松葉調整池）の生き物調査に参加しました。あいにくのお天気でしたが、親子で協力して網とバケツを手に池に入り、メダカなどを捕まえました。最近では、外から持ち込まれた外来種も増えて困っているそうです。池の中央ではカルガモが子育て中でした。池の生き物のお話を聞いた後、子どもたちは、メダカを持ち帰りました。



● めだか池（高ヶ坂松葉調整池）町田市高ヶ坂 1033

調整池は、大雨が降ったときに一度に川に流れ出てしまわないように、一時的に水を溜めておく防災施設です。大量のメダカとモツゴが生息し、「めだか池」の愛称で親しまれています。

めだか池のお世話（NPO 鶴見川源流ネットワークの活動）

偶数月（2月 4月 6月 8月 10月 12月）第3日曜日 10：00～12：00

7月4日 11日 地域探検・自然観察（東工大構内加藤山）

身近な自然である東工大構内の加藤山を散策し、昆虫や植物を観察しました。4日は朝までの雨もあがり、数種類のトンボ、バッタやチョウなどを観察することができました。11日は気温も上がり、ノコギリクワガタやタマムシなどの甲虫やクスノキの前ではアオスジアゲハも観察できました。草地では、バッタやチョウなどを捕まえ、大人も子供も生き物とのふれあいを楽しみました。



『南つく蝶プロジェクト』で検索してね。 <http://butterflygarden.sunnyday.jp/>
チョウの目撃情報や活動の感想もお待ちしています。